

平成23年度学校評価内部評価(教職員) 県立津名高等学校

学校全体の教育活動に対する4段階評価 平成23年12月実施 有効回答数37名

4段階(4:よくできた、3:できた、2:あまりできなかった、1:できなかった)

領域	評価の観点	評価項目	NO	実践目標	平均
学校運営	学校運営全般	校務分掌における取組み	1	各分掌の重点目標を設定し、取組みについて評価・見直しを行う。	2.92
	開かれた学校づくり	家庭地域との連携・情報発信	2	懇談会・面談・学年通信等の発行を行うなど、家庭との連絡を密にする。ホームページを充実させ、地域への情報発信を行う。	3.11
		地域貢献	3	観藤会、ふれあいコンサート、音楽における中高連携、ボランティア活動等の活動において地域に親しまれる学校づくりを行う。	3.46
	生徒指導	生徒の自主活動領域の拡大を図る取組	4	生徒会や委員会の自主的な活動・取組みを進展させ自立の意識を高める。	2.81
		校則を遵守し、マナーを向上させる取組	5	生徒の校則に対する意識を向上させ、自律的に守れるようにする。保護者と共通理解を深め、協力を得る。社会のルールや交通マナーを守り、健康・安全に生活を送れるように努める。	2.95
		生徒理解を深め教育活動に生かす取組	6	カウンセリングマインドをもって生徒と接し、面談機会を十分に設定し、内面的な理解をはかる。	2.92
	進路指導	進路指導体制の充実	7	進路指導部と各学年が連携をとり、組織的に進路指導を進める。	3.32
		進路意識の向上	8	進路学習・ガイダンスを推進し、進路意識を向上させる。	3.30
	教職員の資質向上	計画性をもった研修の実施	9	教職員が研究授業や研修を行い、授業改善、学校の諸課題についての解決能力など実践的指導力の向上に努める。	2.89
教育課程	自ら学び考える力を育成する取組	読書運動	10	「朝の読書運動」を通じて、生徒の心豊かな人間性、思考力、想像力、言語力などの育成をはかる。	3.14
		総合的な学習の時間	11	総合的な学習の時間を通じて、自ら学び考える力や、探求活動に主体的に取り組む態度を育てる。	2.76
		体験的・問題解決学習	12	各教科において体験的・問題解決的な学習を展開する。	2.68
		適切なカリキュラムの作成	13	生徒の興味関心と進路に対応した適切なカリキュラムを作成する。	2.95
	基礎・基本の定着	授業計画の作成	14	年度当初に各教科で基礎・基本の定着を図る授業計画の作成と取り組みを行う。	2.89
		指導形態の工夫	15	習熟度別授業、少人数授業を充実させ、個に応じた学習指導を行う。	3.03
家庭学習の習慣付け		16	自発的に課題・予習・復習など家庭学習を行う習慣を付ける指導をする。	2.62	
課題教育	防災・安全教育	教員の防災教育に係る指導力・実践力の向上	17	生徒・職員の防災訓練、救急救命講習を行い実践的な安全教育を実施する。学校の実情に応じた「警備及び防災マニュアル」を作成し、定期的に対処訓練を行う。	2.84
	人権教育・道徳教育の推進	人権教育・道徳教育推進への取組み	18	ホームルーム活動、教科指導、学校行事等を通して、あらゆる方面で人権教育・道徳教育を推進する。	2.78
	設備・機器の利用	図書館・情報機器の活用	19	図書館を利用した調べ学習、コンピュータを利用したICT教育、AV機器を利用した視聴覚教育等、指導方法の工夫・改善につとめる。	2.54
	学校特色化	高大連携・外部講師の活用	20	大学や研究機関との連携を深め、教科や進路についての理解を深めるとともに、学力向上を目指した取り組みを行う。	3.19
全体					2.95